令和４年度　教科専門試験　特別支援学校（倫理）解答例

受験校種	特	教科科目	倫理	受験番号						得点	

１（配点 30 点）

問１	狂気　（３点）	問２	ウ　（３点）
問３	オリエンタリズム　（３点）	問４	ハヴィガースト　（３点）
問５	イエズス会　（３点）	問６	レヴィナス　（３点）
問７	イ、ウ　※完全解（３点）		
問８	アリストテレスは人間の徳について、真理を認識する知恵や実践的洞察を行う思慮などの知性的徳と、知性的徳に導かれた正しい行為のくり返しによって習慣づけられる勇気、節制などの習性的徳（倫理的徳）があると考えた。また、習性的徳（倫理的徳）は欲望や感情がおちいりがちな過不足という両極端を避け、その中間である中庸をとるところに成り立つとした。（３点）		
問９	ア　（３点）	問 10	カント　（３点）

令和４年度　教科専門試験　特別支援学校（倫理）解答例

受験校種	特	教科科目	倫理	受験番号						得点	

２（配点 30 点）

問１	（１）	ゴータマ・シッダルタ、ブッダ　（３点）		
	（２）	ウ　（３点）		
問２	（１）	エ　（３点）	（２）	イ　（３点）
	（３）	イ　（３点）		
問３	イ　（３点）			
問４	（１）	他の一切の修行方法を捨てて、もっぱら、「南無阿弥陀仏」と念仏をとなえることで、阿弥陀仏の他力により浄土へ救われるという考え。　（３点）		
	（２）	ウ　（３点）		
問５	（１）	新渡戸稲造　（３点）	（２）	エ　（３点）

令和４年度　教科専門試験　特別支援学校（倫理）解答例

受験校種	特	教科科目	倫理	受験番号						得点	

３（配点 40 点）

問１	A	追究　（２点）	B	民主的　（２点）	C	人間　（２点）
問２	ディベートを取り入れる際に、モデルディベートを記載した資料を導入で用いたり、メリットとデメリットを整理するためのワークシートを使用することにより生徒の思考を促し、学習活動を活性化させるための工夫を行う、など。（４点）					
問３	（１）	２時間を配当して、日本や世界における文化的、宗教的な原因による摩擦を調べその原因と解決策を考察する活動に取り組む。 　１時間目は、日本または世界における文化的、宗教的な原因による摩擦について、具体的な事例を一つ取り上げて、概要や背景について調査し、解決のための方策について考察を行う。その際、図書室や WiFi 環境が整った教室などを使用して、様々な資料に当たることができるように配慮する。また、調査の際には様々な立場や意見に触れるように指示した上で行うようにし、教師は机間支援を行いながら、生徒が一面的なものの見方に陥っていないか気をつけながら学習活動に取り組ませる。調べて考えたことは、ワークシートに記入させる。 　２時間目は、生徒が調べたことをもとに３～４人のグループに分けて発表を行う。発表についてはワークシートをもとに、①摩擦の原因や背景、②解決のための方策について必ず触れることとし、１人につき５分で行う。発表を聞きながら、分かりやすさや多面的な見方ができているか、などの観点を設けて相互評価を行う。最後に、自分の調査や他の生徒の発表を聞いて、分かったことを小レポートとして記述させ、本時のまとめとする。（15 点）				

令和４年度　教科専門試験　特別支援学校（倫理）解答例

受験校種	特	教科科目	倫理	受験番号						得点	

問３	（２）	１時間目の学習活動については、「知識・技能」の観点から評価を行う。取り上
げた事例について、国際機関の報告書や論文など信頼性の高い資料に当たることなど、多面的に考察		
するための適切な資料選択ができたか、また、その資料から摩擦の原因や背景を適切に読み取ること		
ができたかを、ワークシートを通して評価する。		
２時間目の学習活動については「思考・判断・表現」の観点から評価を行う。調べたことをもとに、		
自身で解決のための方策を考えることができたか、また、自身の調査、考察内容について、指定され		
た時間で的確に他者に伝えることができたかを、ワークシートや小レポートを通して評価する。		
（15 点）		